

付録一覧

本ガイドラインに以下の付録を収録した。

(1)付録 A: 申請書様式サンプル集

「様式開発者間の情報共有」や「申請書様式の部分的な再利用」による様式標準化の促進を目的として、申請書様式のサンプルを示した。

(2)付録 B: 紙様式の電子化にあたっての課題

従来の紙媒体による様式を電子化するにあたっての課題や提言をまとめた。

(3)付録 C: ロードマップ

本ガイドラインを作成したインターネット汎用電子申請システムタグ標準化タスクフォースのロードマップ(2003年度まで)を掲載した。

(4)付録 D: 申請書共通ボキャブラリの作成手順

本ガイドラインが提案する「申請書共通ボキャブラリ」の作成にあたって実際に行われた作業を一般化し、一連の手順(すなわち「紙様式上の記載項目の抽出」から「申請書共通ボキャブラリの構成」まで)として示した。

(5)付録 E: 様式用語シソーラス

申請書共通ボキャブラリ作成の基礎作業として、様式を分析した結果の一例である。

(6)付録 F: 申請書共通ボキャブラリ辞書

DTD や XML の作成にあたり、使用するボキャブラリを選定する際に利用するデータである。様式に現れるキーワードからボキャブラリを検索することができる。

(7)付録 G: 申請書共通ボキャブラリー一覧(【DTD 版】および【XML Schema 版】)

経済産業省で使用される様式を調査した結果を元に抽出、選定した「申請書共通ボキャブラリー一覧」を掲載した。申請書共通ボキャブラリとその意味、モジュール、モジュールの形式定義などを一覧形式でまとめた。

(8)付録 H: 申請書共通ボキャブラリ・リファレンス(【DTD 版】および【XML Schema 版】)

DTD や XML の作成にあたり、使用するボキャブラリを選定する際に利用するデータである。モジュール名(共通ボキャブラリ)を元に、構造の形式定義や参照方法、および実際の利用例を参照できるようにしたものである。

(9)付録 I: 電子申請用 XML 様式の作成手順—チュートリアル: XML タグ付け作法—

DTD や XML に関する高度な知識がなくても様式の電子化が進められるように、いくつかの典型的な様式サンプルを例示して DTD や XML の作成手順を示した。

(10)付録 J: 基本物理量ボキャブラリ

申請書に含まれる可能性のある基本物理量を、基本物理量ボキャブラリとしてまとめた。

(11)付録 K: 申請書共通ボキャブラリ登録に関するフレームワーク

行政機関への申請・届出等を電子的な方法で行う際の様式を作成するうえで必要となる、申請書共通ボキャブラリの登録、削除等に関するフレームワークを示した。

(12)付録 L:「汎用受付等システムの構築・運用に関する共通事項(平成14年3月29日 基本問題専門部会了承)」との対応

「汎用受付等システムの構築・運用に関する共通事項(平成14年3月29日 基本問題専門部会了承)」(http://www.soumu.go.jp/gyoukan/kanri/020329_1.htm)と、本ガイドラインが提供する申請データ構造との対応関係をまとめた。

(13)付録 M:改訂履歴

本ガイドラインの本編および付録編の改訂履歴をまとめた。

(14)付録 N:ガイドラインにて述べている用語の説明

本ガイドラインで述べている XML や申請書様式に関する用語のうち、本ガイドラインの理解にあたってとくに説明が必要と思われる用語をまとめた。

以上